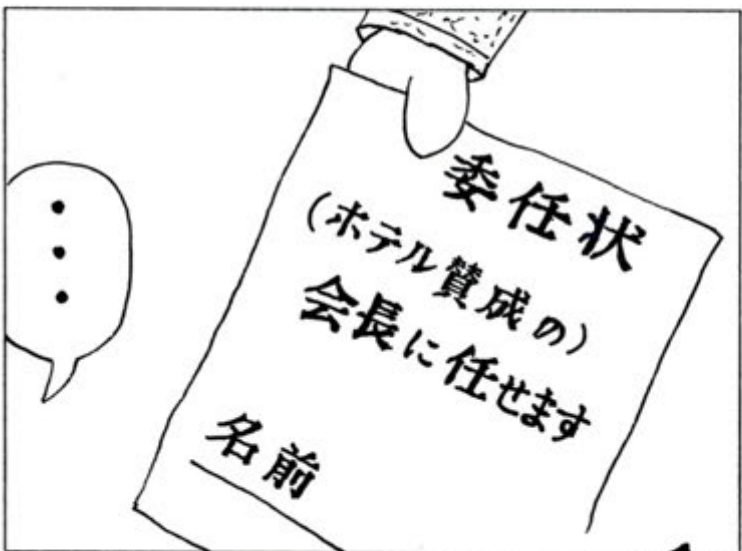


やなぎのあとち



■発行者 植柳校跡地問題を考える会

■連絡先 柳町 大屋峻

植柳跡地 ニュース

公正な投票を！

植柳小跡地ホテル問題は、大詰めに来ています。京都市は「地域住民の声を聞きながら」と、ひたすら繰り返しています。

京都市の言い分は「植柳自治連幹部の考え」。「地域住民の考え」です。しかし、幹部と住民との間で、ホテルに関する話し合いは、一度も行われていません。自治連幹部と地域住民、という京都市の図式には、違和感を覚えざるを得ません。

また、自治連総会における従来の委任状では、委任できる相手は「会長」に限られており、もし会長の考えに反対でも、問答無用で会長に一票入る仕組みになっています。

跡地問題を考える会は、地域住民の思いが正しく反映される、公正な投票を望みます。

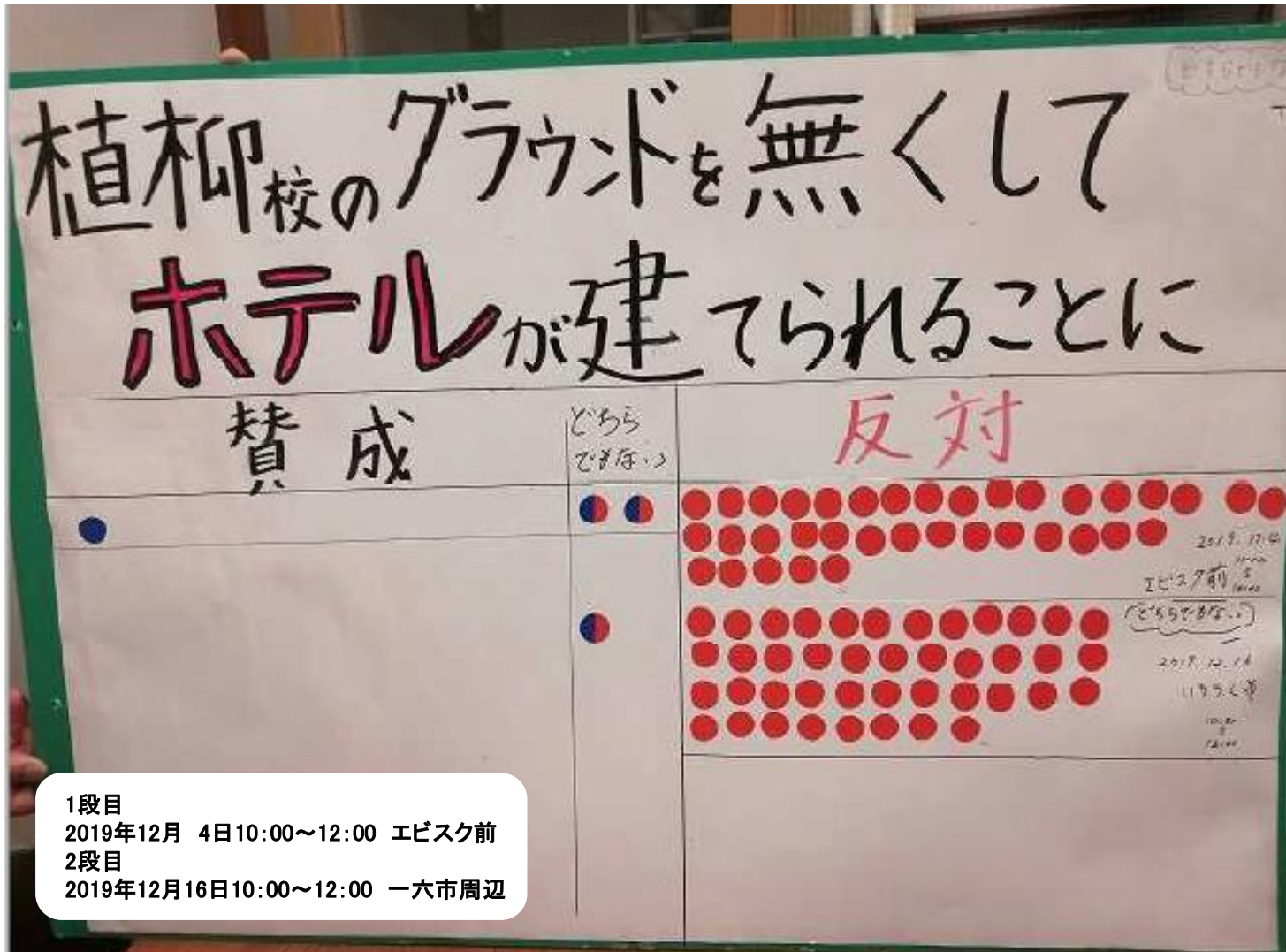
明けましておめでとう



ゆみちゃんがフラを踊った校庭に
令和二年の春のあわゆき

ホテル圧倒的反対

これが住民の声



近々、植柳校跡地活用案の賛否を問う植柳自治連合会の臨時総会開催が見込まれています。

今までの総会では、欠席者に対し「会長に委任」と印刷した委任状への署名が求められてきました。この形式の委任状では、すべて物事は会長の意思だけで決まります。住民の賛否の意思を示すことは出来ません。

「植柳校跡地にグラウンドを無くしてホテルを建てる」案が出てから、京都市も自治連合会も、広く地域住民の意見を尋ねたことはありません。

跡地問題を考える会では、ホテル建設についてのみんなの思いを知るため、**賛成・反対、両方の意思が示せるシール投票を二度**行いました。結果は「ホテル賛成1 反対78 どちらでもない3」という、ホテル反対の意見が圧倒的多数を占めました。

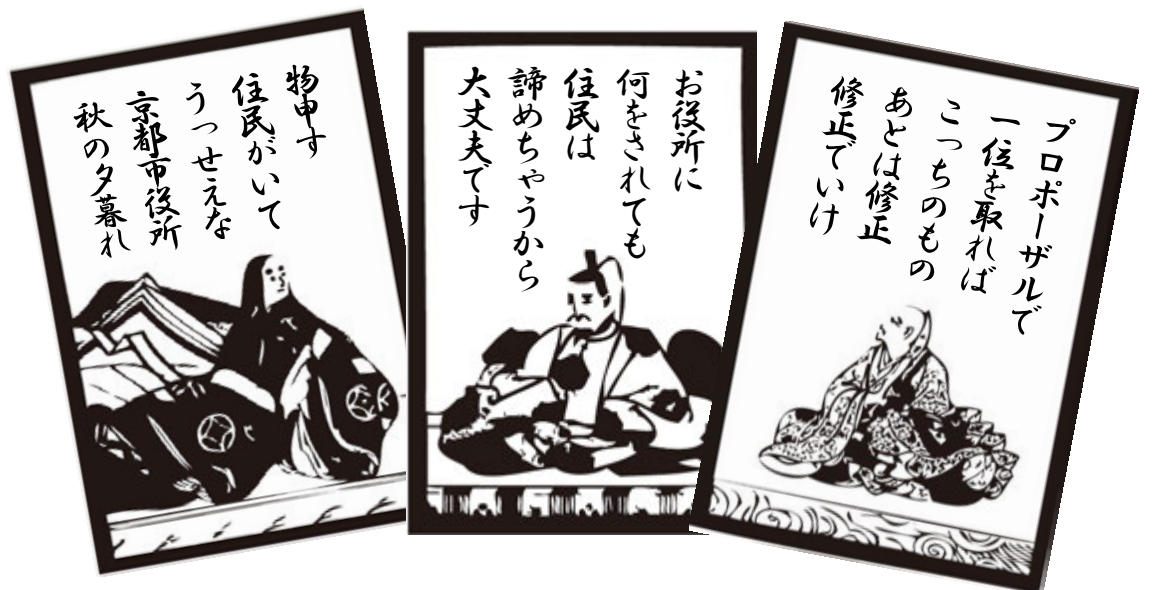
ホテル建設推進の京都市と、住民との思いは、大きくかけ離れています。

「ホテル反対」となかなか言い出せない方もシール投票だから

プロポーザルで
一位を取れば
こっちのもの
あとは修正
修正していけ

お役所にも
何をされても
住民は
諦めちゃうから
大丈夫です

物申す
住民がいて
うっせえな
京都市役所
秋の夕暮れ



気軽に本音が言えたのかもしれない。京都市は、この結果を重く受け止め、住民の気持ちに反映される**住民投票**を行ってほしいと思います。京都市の誠実さを願うばかりです。